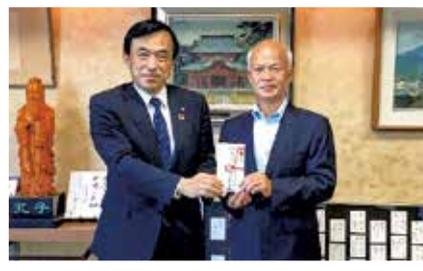


## 有限会社鹿島防災具店が多久市に寄附

7/30[Fri]

有限会社鹿島防災具店（本社：鹿島市）が多久市に100万円を寄附されました。同社は平成17年度にも多久市に寄附を行われています。

贈呈式で有限会社鹿島防災具店の大石安兼代表取締役は「教育・文化・社会福祉事業のために活用いただきたい」と話され、横尾俊彦市長は「大変ありがたい。ご意向に沿った形で活用していきます」と感謝の言葉を述べました。



▲大石代表取締役（右）から横尾市長（左）へ目録が手渡されました

## 小城警察署と連携協定を締結

8/16[Mon]



▲協定書を手にする泉小城警察署長（右）と横尾俊彦市長（左）

小城警察署と多久市は「多久市高齢者見守り支援シール事業<sup>\*</sup>」の連携協定を締結しました。この協定により、認知症などで行方不明になる恐れのある登録者の情報を小城警察署が事前に把握できるようになり、緊急の際に迅速な対応が可能となります。

協定式で、小城警察署の泉敬一郎署長は「多久市と連携し、認知症などによる行方不明者が事故にあわないよう、早期発見に努めたい」と話されました。

### ※多久市高齢者見守り支援シール事業

行方不明になる恐れのある認知症高齢者に、衣服などに貼り付けるQRコード付きシールを市が交付しています。本人が行方不明になった際、発見者がQRコードを読み取ることによって家族などが連絡を取ることができ、早期発見や保護につながります。



## 多久市同和問題講演会を開催

8/24[Tue]

同和問題への正しい理解や認識を深めるため、毎年開催している多久市同和問題講演会を8月の佐賀県同和問題啓発強調月間に合わせて中央公民館で行いました。

今年は元夜間中学校教諭の松崎運之助<sup>まつざきみちのすけ</sup>さんが「命の光を大きく輝かせるために」と題して、夜間中学校での教師体験などご本人のこれまでの体験談を交えて講演。夜間中学校に通う人たちの境遇をとおして、同和問題に取り組む大切さを話され、参加者はうなずきながら真剣に話を聴いていました。



▲手話通訳や要約筆記とともに、松崎さん（右）による講演が行われました